

OS

取扱説明書

<CMS0040MN1>

ORANGE STOCKER

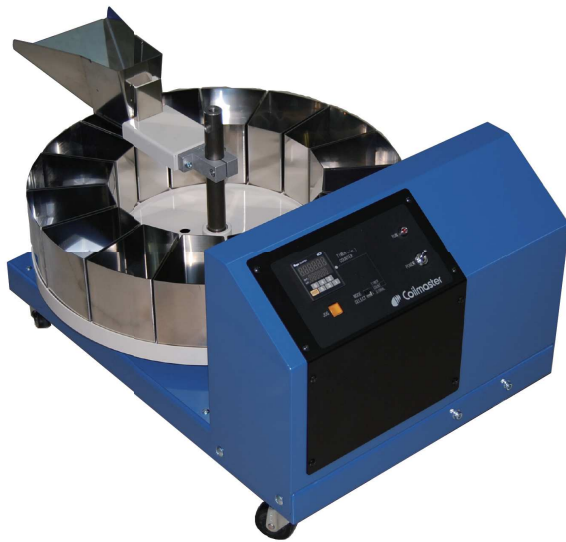
■対象機種

OS-508D

OS-516D

OS-708D

OS-716D



1. 使用上の注意
2. 各部の名称
3. 組立と設置
4. 電気の接続
5. 運転と操作
6. 電気回路図
7. 外形図と仕様
8. 保守と点検
9. 保証とアフターサービス
10. トラブル処理表






据付、接続(配線)、運転、保守点検の前に必ずこの取扱説明書を読み、正しく御使用下さい。
また、必要なときに見られるよう、本書を大切に保管してください。

1. 使用上のご注意

据付、配線(接続)、運転、保守点検の前に必ずこのマニュアルを熟読し、製品を正しく使用してください。更に、機器の知識、安全に関する注意事項のすべてについても十分に習熟してください。


このマニュアルでは、安全注意事項のランクは下記の通り区別されています。

 危険	取扱いを誤った場合に、死亡又は重傷を負う事故の可能性が高い場合
 警告	取扱いを誤った場合に、死亡又は重傷を負う事故の可能性がある場合
 注意	取扱いを誤った場合に、中程度の傷害や軽傷を受ける事故または物的損害の可能性のある場合



用途について

 危険
●この機械は、機械部品を区分ストックするための装置です。他の用途に使用すると重大な事故のおそれがあります。

使用者について

 危険
●設置・据付・配線作業は、専門知識・資格を有する人材に限られます。他の人材による設置・据付・配線作業は、感電・けがのおそれがあります。 ●機械の運転操作は、操作の教育・トレーニングを習得された人材に限られます。他の人材による操作は、重大な事故の原因となります。 ●保守・メンテナンスは、専門知識・資格を有する人材に限られます。他の人材による保守・メンテナンスは、感電・けがのおそれがあります。

機械の運搬・移動について

 危険
●機械の運搬・移動は、専門知識・資格を有する人材に限られます。他の人材による運搬・移動は、重大な事故のおそれがあります。
 警告
●機械の運搬・移動は、専用の運搬設備(ホイスト・フォークリフト)を使用すること。人手による運搬・移動は、製品の落下・転倒により故障・けがの原因となります。

据付けについて



- 設置・据付作業は、専門知識・資格を有する人材に限られます。他の人材による設置・据付は、故障・けがの原因になります。



- 設置環境は、
設置場所：屋内
使用環境温度：-10～40℃ 但し低温環境では、内部電装品が氷結・結露し、感電・漏電の原因となり、高温環境では、
熱 による故障の原因となります。
使用環境湿度：75%以下(結露しないこと)
雰囲気：塵埃、腐食性ガス、水、油がかからないこと。火災・感電・漏電・故障の原因になります。
設置床面：標高1000m以下
傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。材料の落下・転倒・けがの原因になります。
- 装置を改造しないで下さい。改造すると誤動作・故障・けがの原因になります。

配線について



- 配線作業は、専門知識・資格を有する人材に限られます。他の人材による配線作業は、感電・けがのおそれがあります。



- 配線作業は、電源の遮断を確認の上、行ってください。感電のおそれがあります。
- 漏電遮断器を通して電源へ接続してください。
- 必ず指定サイズの電線を使ってください。
- 接地線は、必ず接地してください。
- 装置の入力電源の相数、定格電圧と接続する電源の相数、電圧が一致していることを確認してください。



- 装置を移動するときは、必ず電源ケーブル・信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルの断線により感電・装置の誤動作のおそれがあります。

運転操作について



- 機械の運転操作は、操作の教育・トレーニングを習得された人材に限られます。他の人材による操作は、重大な事故の原因となります。
- 電源投入後は、絶対にテーブルの上に乗らないでください。重大な事故の原因となります。



- 電源投入後、準備作業は行わないで下さい。
- 制御盤を開けたまま運転しないこと。感電・誤動作・けがのおそれがあります。
- 最大積載以上は積載しない。転倒、けがのおそれがあります。

保守・メンテナンスについて

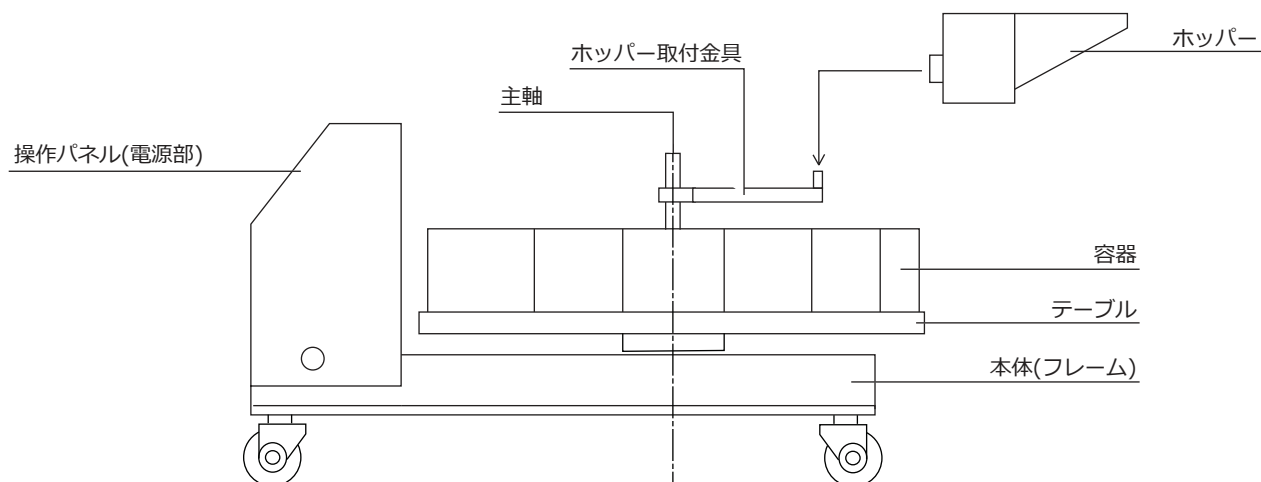


- 保守・メンテナンスは、専門知識・資格を有する人材に限られます。他の人材による保守・メンテナンス作業は、感電・けがのおそれがあります。



- トラブルが発生した時は、必ず電源を遮断してから原因の除去を行ってください。けがのおそれがあります。
- 制御部の点検または部品交換をする場合、必ず電源を遮断してから作業を行ってください。感電・けがをするおそれがあります。
- 潤滑グリースの交換・補充を行う際は、目に入らないよう又引火物がないか確認の上作業を行ってください。火災・けがのおそれがあります。
- 制御盤内の基板及びスイッチ・電気部品に異物・ほこり等が付着していないか確認すること。

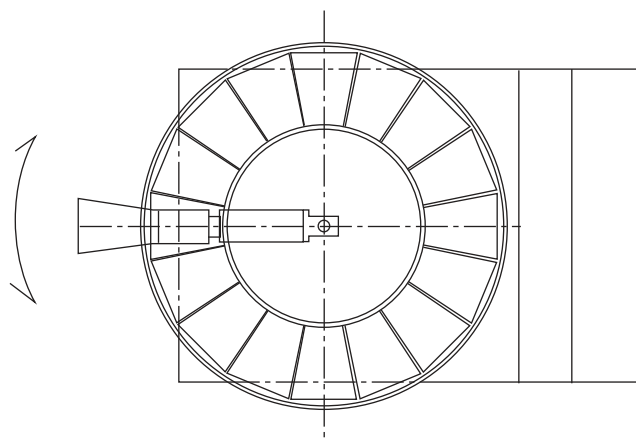
2.各部の名称



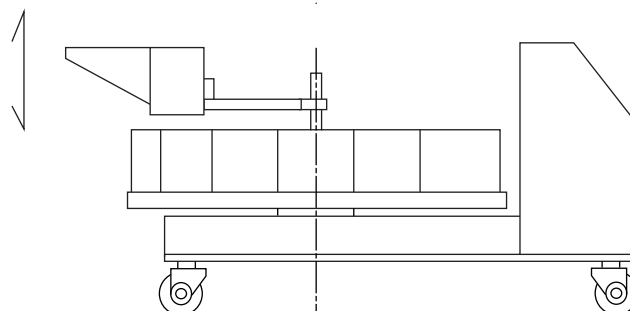
3.組立と設置

- ① 容器を仕切内にズレがないよう設置する。
 - ②ホッパー取付金具を主軸に取り付ける。
 - ③ホッパーを取付金具に取り付ける。
- ※ホッパーが容器にあたらないように高さを調整して取付けてください。

ホッパー位置調整
(円周方向)



ホッパー高さ調整
(上下方向)



4.電気の接続

⚠ 危険

- 配線作業は、専門知識・資格を有する人材に限られます。他の人材による配線作業は、感電・けがのおそれがあります。

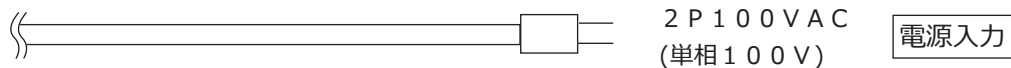
⚠ 警告

- 配線作業は、電源の遮断を確認の上、行ってください。感電のおそれがあります。
- 漏電遮断器を通して電源へ接続してください。
- 必ず指定サイズの電線を使ってください。
- 接地線は、必ず接地してください。
- 装置の入力電源の相数、定格電圧と接続する電源の相数、電圧が一致していることを確認してください。

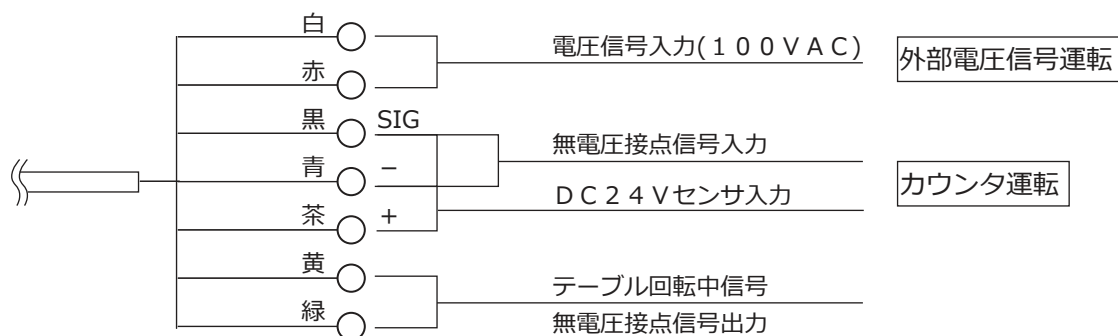
⚠ 注意

- 装置を移動するときは、必ず電源ケーブル・信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルの断線により感電・装置の誤動作のおそれがあります。

●電源コード(プラグ付)



●信号コード



5. 運転と操作



● JOG 運転

タイマ・カウンタ・外部電圧信号運転にかかわらず、テーブルの回転動作を確認するときに使用します。
使用方法：「JOG」スイッチを押すとテーブルが回転します。(0.5秒以上押してください)

● タイマ運転

設定時間でインデックス(分割)する運転モードです。
使用方法：「運転モード切替スイッチ」を「TIMER」にセットします。
時間の設定は「タイマ/カウンタ」で設定して下さい。
設定単位は「分」です。

● カウンタ運転

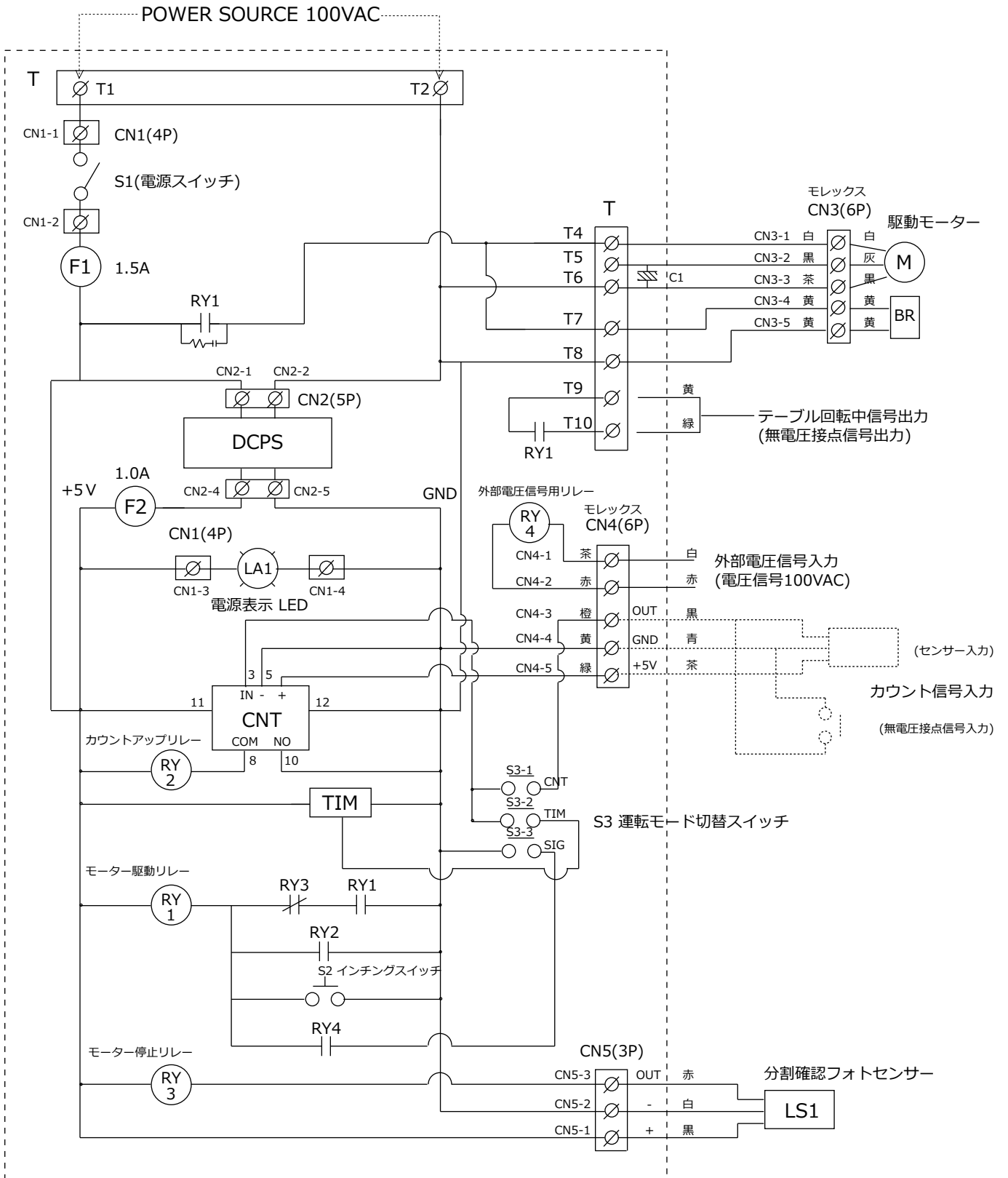
設定カウント数でインデックス(分割)する運転モードです。
使用方法：「運転モード切替スイッチ」を「COUNT」にセットします。
信号コードの「青」「黒」に無電圧接点信号を入力することによりカウントします。
カウント数の設定は「タイマ/カウンタ」で設定して下さい。

● 外部電圧信号運転

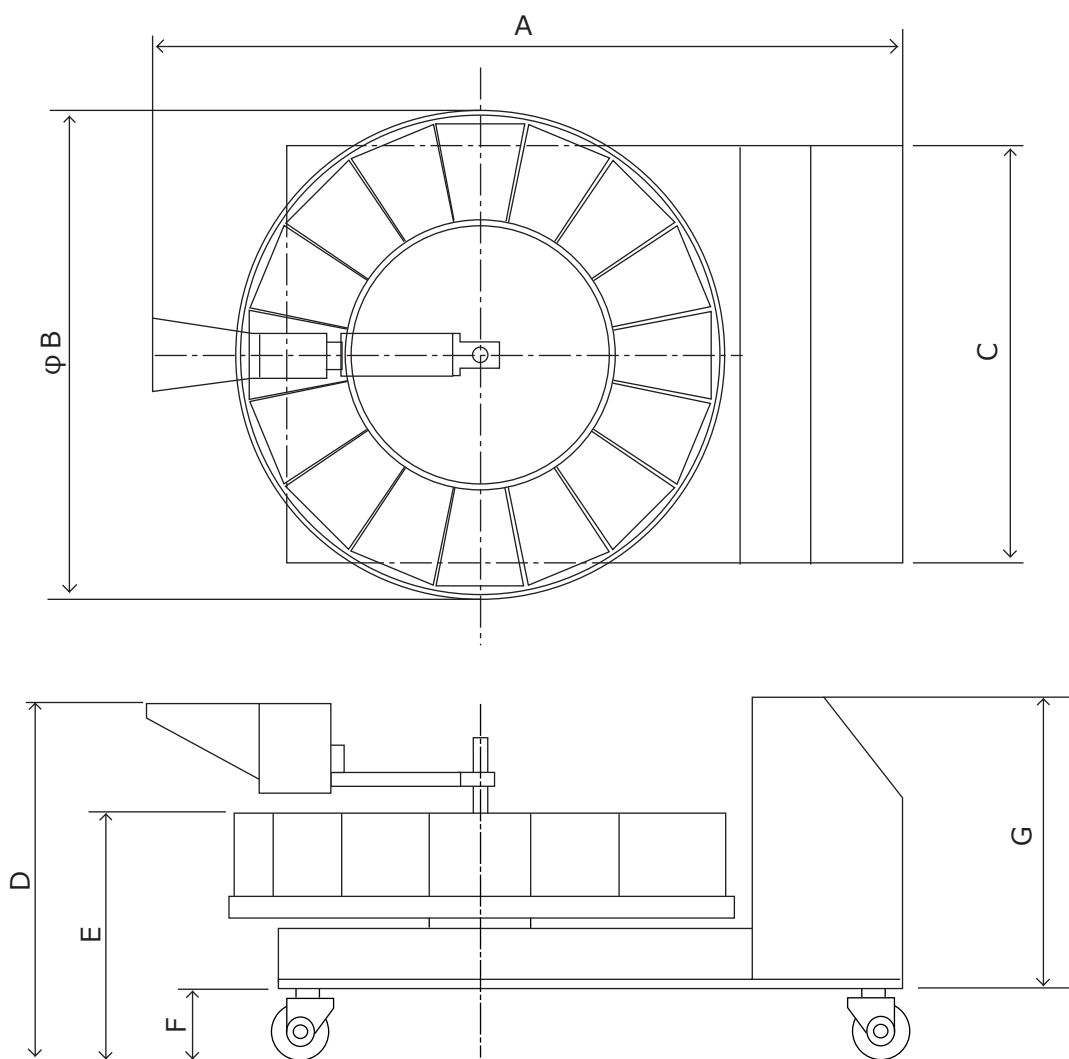
外部(加工機等)から電圧信号を入力してインデックス(分割)する運転モードです。
使用方法：「運転モード切替スイッチ」を「SIGNAL」にセットします。
信号コードの「赤」「白」にAC100V電圧接点信号を入力することによりインデックス(分割)します。



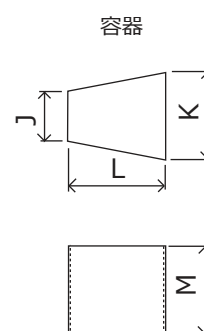
6.電気回路図



7.外形図と仕様



		OS-508D	OS-516D	OS-708D	OS-716D
仕様	電源	AC 100V			
	インデックス信号	タイマー/カウンター/外部信号			
	積載重量	30kg			
	容器数	8	16	8	16
	本体重量	35	40	50	55
外形寸法	A	771.5	771.5	955.5	975.5
	B	500	500	700	700
	C	440	440	440	440
	D	385	365	420	420
	E	261.5	261.5	286.5	286.5
	F	68	68	68	68
	G	310	310	310	310
容器寸法	J	63	54	96	68
	K	188	94	264	133
	L	169	109	229	169
	M	100	100	125	125



8.保守と点検

⚠ 危険

- 保守・メンテナンスは、専門知識・資格を有する人材に限られます。他の人材による保守・メンテナンス作業は、感電・けがのおそれがあります。

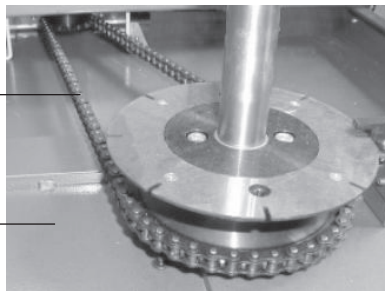
⚠ 警告

- トラブルが発生した時は、必ず電源を遮断してから原因の除去を行ってください。けがのおそれがあります。
- 制御部の点検または部品交換をする場合、必ず電源を遮断してから作業を行ってください。感電・けがをするおそれがあります。
- 潤滑グリースの交換・補充を行う際は、目に入らないよう又引火物がないか確認の上作業を行ってください。火災・けがのおそれがあります。
- 制御盤内の基板及びカウンタ・タイマ端子部に異物・ほこり等が付着していないか確認すること。

点検場所	点検内容
チェーン	1年毎 少量追加
スラストベアリンググリース	1年毎 グリース少量追加
各所締付ボルト	3カ月毎 点検・増し締め
分割確認フォトセンサー	6カ月毎 スリット部の汚れ 清掃

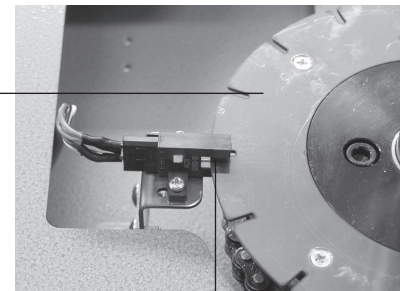
チェーン

スラストベアリング
(スプロケットの下に
組み込まれています)



スリット板

センサースリット部



9.保証とアフターサービス

- ・本製品は正常な設置・取扱いのもとでの保証期間は、納入後1年間です。
- ・本製品の保証範囲は本機のみが対象です。
接続機械関連設備、システム等の保証は対象外です。
- ・日本国外での使用についてはすべて別の輸出用製品となりますので、日本国内向け製品を転用、改造されてもその保証はできません。
- ・配線変更など、出荷後に改造をされた場合、如何なる事故についてもその保証は致しかねます。
また、アフターサービスの対象外になりますのでご注意ください。

